

黒羽山 大雄寺

雄禅会かわら版

創刊のご挨拶



はじめまして、雄禅会かわら版です。このかわら版は、日曜座禅会の有志を介しました雄禅会の活動を紹介する第一面です。30分より開催して第2、第4、日曜日の朝7時後、季節ごとの発行となりますので何卒、よろしくお願ひ致します。

ご住職より

雄禅会かわら版発行おめでとうございます。

座禅会の情報誌として未永くよろしくお願ひ致します。寺の歴史やいわれが表されます。山号は、黒羽山。この地域場所を意味します。院号は、久遠院と申し、寺を開いた開基黒羽藩主”大関高増の先代増次の戒名「久

会長さんのひと言

桜の花が咲き始めたと思えば、はらりと舞い散り、新しい緑の葉をつけ始めました。ふと空に目をやると春霞の中に、時折、夏の様相を見せる太陽が輝いています。坐禅をしていて、とても気持ちのいい季節に

遠院殿超山道宋代吾士”からの院号で、黒羽藩の菩提寺を意味します。大雄寺(だ

いおうじ)と称するのは、「大雄宝殿」や「大雄世尊」という釈尊・お釈迦様の尊称の「大雄」から名付けられました。次回、夏号からは、「寺こらむ」と称しまして皆様にお伝えして参ります。

大雄寺住職 倉澤 良裕

なりました。この坐禅で

すが、ただ座っていて何になるのとよく聞かれますが、いつも、「流されていく日々に句読点を打つようなもの」と答えます。生活に一息をつくことです。ここで、坐ってみませんか？

会長 目面靖浩

茶話会の今

新年が明けてからの茶話会(作務を終えてからのお茶のひととき)では、徒弟の文亮さんが”禅語カード”を作成して参加者にお配りしています。

☆この方にインタビュー

初めてのインタビュアーは、雄禅会の初代会長、平田 寛さんです。よろしくお願ひします。



春の陽の中で...

Q1. 参加されて何年ですか？

平：12年目です。座禅をしていて偶然、大雄寺様の下の道路の看板を見つめました。嬉しくなりました。

Q2. お住まいは、どちらですか？
平：那須町です。車で20分くらいです。

そして、その言葉の意

味や心得を伝授して下さいます。日々是好日、衆善奉行、一水四見、上求菩提、行住坐臥...他。言葉たちの意味は、禅の深さを感じます。

Q3. 座禅をしていかがですか？

平：日常の煩わしさを忘れて自分を見つめる良い時間になっていきます。

Q4. 永年、参加されてい

平：寺コンサートやスクール、伝統文化や芸能など見聞させて頂きました。

Q5. つぶやきをどうぞ？

平：日々、爽やかな心で過ごしたい...。

ちょっとお知らせ

昨年に引き続き、4月初旬にフジテレビのドラマ”一休さん”(鈴木福君、主演)のロケがここ大雄寺で行われました。5月5日(祝)に放送です。

牡丹咲く五月

寺コンサートのお知らせ

5月12日(日)寺コンサートが開催されます。今年は、「懐かしき時代へテノールと朗読のひととき」と題し、ピアノの伴奏に合わせ歌と朗読をお楽しみ頂きます。

午前の部：受付/10:00
開演/10:30

午後の部：受付/13:30
開演/14:00

お一人様/2千円・大人
までのお子様は無料です。
各部定員一〇〇名です。

春の一句

「春が来る 来ぬ人顔出す 座禅会」
小村翠香

☆編集後記☆

♪はるが来た、はるが来た♪どこに来たあ♪：禅堂への回廊を歩く素足の足の裏にも、新緑の紅葉や牡丹の蕾にも、春は、もうあちこちにあふれています。心の中にもほっこりと暖かな春が来ますね。